

第2期
上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略
検証結果報告書

【令和5年度事業】

令和7年3月
上牧町

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

基本目標	基本的方向	施策	取組内容
1. 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	1. 地域による教育・子育て環境の充実	①子どもの学力向上支援	○ICTを活用した教育支援 ○学習支援教室（まきっ子塾）の開催
		②子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	○学校を中心とした地域コミュニティ網の形成 ○学校支援事業の運営 ○学校・家庭・地域の連携による人権教育の推進 ○学校と連携した読書活動の推進
		③地域ぐるみの子育て支援	○情報交換拠点の整備 ○預かり保育事業の実施
		④就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実	○就学前の学習環境の充実 ○特色ある乳幼児教室の開催
		⑤多様な学びの場における支援	○通級指導教室（ペガサス教室）の充実 ○ほほ笑み教室の開催
		⑥青少年の健全な育成	○様々な専門講座の開催 ○青少年の生涯学習機会の確保と次世代の育成 ○キャリア教育及び職業教育の実施
		⑦グローバル人材の育成	○国際交流事業（世界に伍して活躍するグローバル人材の上牧町育成事業）の推進
	2. 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	①結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援	○出会い・結婚応援事業の実施 ○プレパパママ教室の開催 ○不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発
		②子育ての希望を叶えるための支援	○乳幼児健診受診の促進 ○子育て世代への訪問型個別支援の拡充 ○子育て支援の充実
	2. 上牧町への新しい人の流れをつくる	1. 既存ストックの利活用促進	①空き家活用プロジェクト
②UR 住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進			○UR 都市機構等関係者との協議

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

基本目標	基本的方向	施策	取組内容
2. 上牧町への新しい人の流れをつくる	2. 若年層の UIJ ターン促進と関心・認知度の向上	①公共交通の利便性の向上	○上牧町地域公共交通会議の開催 ○コミュニティバスの利用促進
		②関係人口・交流人口の創出	○観光プログラムの企画・周知・運営 ○イベント等におけるふるさと回帰・移住促進 PR 活動の実施 ○大学や企業との連携によるブランディングの推進 ○移住支援金事業 ○SNS を活用した情報発信と企画の実施
3. 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	1. 地域資源を活用した魅力創出	①公共施設の相互利用	○公共施設広域連携検討会の開催
		②地域資源の整備	○史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進 ○かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業
	2. 地域住民との協働によるまちづくりの推進	①地域活動の支援・促進	○町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進 ○地域活動団体の設立及び活動支援 ○上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用推進 ○歴史ガイドボランティアの養成
		②防災・防犯活動の支援・促進	○防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携 ○子ども防災意識の向上 ○防犯活動の支援
4. 誰もが働きやすい環境をつくる	1. 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	①ハローワークや町内事業者と連携した就職支援	○就職準備セミナーの開催 ○町内事業者とのマッチング支援
		②子育てしながら安心して働ける環境の整備	○子育てと就労の両立の支援 ○子育てママ就業支援事業の実施
	2. 新たな雇用創出の支援・促進	①地域産業の活性化と担い手の育成	○就農支援（担い手育成）と農産物の販路確保支援 ○地域資源を活用した商品開発と販路確保支援

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	① 子どもの学習向上支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① ICTを活用した教育支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 児童生徒の学習意欲の向上や学力の育成を図るため、情報化の進展、社会環境の変化に対応したICT環境の整備などを推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 令和5年度においては、下記のとおりICT環境の整備を行いました。</p> <p>(ICT環境整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タブレットなど各種ICT機器の確保 ● 貸出用モバイルルーターの確保 <p>(ICT機器の運用面での支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県域GIGAスクール運営支援センターの整備(協議会参加) <p>【事業費(決算額：R05)】 ・ICT事業：6,408千円</p>	<p>B</p>	<p>【課題】 運用面(ICT機器を活用した授業展開など)においては、ICT支援員の配置を令和4年度で終了し、GIGAスクール運営支援センターの支援に移行していく方針で進めていますが、十分な活用に至っておらず、ICT機器を活用した授業づくりの継続とICTに関する知識やスキルを身につけられる機会の確保が課題となっています。 また、統合型校務支援システムの導入を予定していましたが、ネットワークの整備要件の変更や令和7年度に予定されているシステム更新を踏まえ、効率的に整備を進められるよう、令和7年度の導入に向けた計画の見直しを行うこととしました。 その他、児童生徒一人一台端末(Chromebook)について、令和7年度以降に順次更新時期を迎えますが、更新コストが大きいと、財源の確保などが課題となっています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和6年度も引き続き、ICT環境の整備(維持管理)に努めるとともに、ICT支援員による支援の代替として、GIGAスクール運営支援センターの活用へ移行していけるよう引き続き働きかけていきます。 また、ICTに関する知識やスキルを身につけられる機会の確保を図るため、ICTの研修の実施に向けた調整を行います。 その他、教職員の業務負担の軽減や児童生徒一人ひとりへの個別最適化した学びの提供を実現するため、奈良県が県域で取組を進めている「統合型校務支援システム」の導入を目指し、県の動向を注視しながら、可能な限り早期に対応できるよう、協議会(部会)への参加を通じて情報収集に努めます。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
教員向け研修開催回数(年間)【回】	2 対前年増減→	1 -1	- -1	- ±0				2

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	社会教育課
基本的方向	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	① 子どもの学習向上支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 学習支援教室（まきっ子塾）の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的としています。水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の特別教室などを利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っています。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 令和5年度 参加児童・・・三校合計151名 (内訳) 上牧小学校 51人 上牧第二小学校 41人 上牧第三小学校 59人</p> <p>実施回数・・・上牧小学校 24回 上牧第二小学校 24回 上牧第三小学校 20回</p> <p>保護者と児童に対してアンケート調査を実施し、151人中89人から回答がありました。おおむね高評価をいただきました。 保護者からは「宿題をするように言わなくて済むようになった」「家でもゆっくりおしゃべりする時間が増えた」という意見がたくさんありました。家庭学習の定着を目的とした本事業の内容が、各家庭へ浸透しているものと評価できると思います。 また、家庭の負担軽減にも効果があったのではないかと感じています。 さらに、一部の保護者の意見として、「友達と宿題をすることが楽しい」、「プリントが楽しく、勉強が楽しいと感じるようになったよう」、「丁寧に指導してくださっているので子どものやる気につながっている」などの声をいただきました。児童が楽しみながら学習することで、学習への意欲を高められたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・学校支援向上事業：5,030千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 「まきっ子塾」は児童3,4人にアドバイザー1人を基本に考えていますが、適切に配置することにより児童一人一人に寄り添った指導が十分に機能すると考えます。 今後も引き続き学習アドバイザーと各小学校・担任の教員とも連携を図り「まきっ子塾」を運営していきたいと考えます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
「まきっ子塾」参加児童満足度【%】	-	-	70.8	70.8				80.0
	対前年増減→	±0	+70.8	±0				

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	社会教育課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。	
施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 学校を中心とした地域コミュニティ網の形成

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 地域とともにあるより良い学校づくりを推進するため、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議を年3回程度実施するとともに、県教育委員会事務局に協力を得ながら、規則や実施要領の制定を目指していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 令和5年度は各小中学校の校長・教頭・コーディネーター、事務局を対象に研修会を1回実施しました。奈良県CSアドバイザーにお越しいただき、飛鳥小中学校の導入事例と学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入と地域学校協働活動（学校・地域パートナーシップ事業）の一体的推進のあり方についてお話いただきました。この研修によって、当該事業に係る理解を深めることができました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・学校・地域パートナーシップ事業：1千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 コミュニティ・スクールの導入に向け社会教育課と教育総務課が共通認識のもと一体となって連携を深めていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
コミュニティ・スクール制度導入に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	4 対前年増減→	1 -3	1 ±0	1 ±0				5

取組内容② 学校支援事業の運営

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 学校・幼稚園と連携を図り子どもたちの教育について主体となる学校教育に加え、地域全体で支援する体制づくりを進めるために学校支援のボランティア活動を行う「学校・地域パートナーシップ事業」を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 主な活動として図書支援・環境支援などを行い、小学校では登下校見守り支援も実施しました。新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたことで、コロナ禍のように制限されことなく活動することができました。地域のかたによる学校支援の取組により、教職員の負担軽減につながり学校教育の充実を図ることができたと考えます。 また、ボランティア募集のチラシを工夫するなど、人材確保にも努めました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・学校・地域パートナーシップ事業：1,181千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に、学校支援ボランティアによる支援活動を継続していきます。 また、ボランティアの人材確保にも努めます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
学校支援ボランティア登録者数（年間）【人】	238 対前年増減→	217 -21	254 +37	243 -11				250

取組内容③

学校・家庭・地域の連携による人権教育の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 ヒューマンライツセミナーを開催し、人権学習の継続と発展を推進します。指導者研修会を実施し、各関係機関の代表者を中心に参加を呼びかけ、実践力を高める研修会を実施します。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 ①11月8日（水） ペガサスホールでヒューマンライツセミナーin上牧を開催しました。 内容 「困った子は困っている子～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～」 講師 寮美千子さん（作家・詩人） 奈良少年刑務所で行ってきた「絵本と詩の授業」を通して少年たちと長く向き合ってきた、作家で詩人の寮美千子さんに講演していただきました。町人教、PTAと共催し、参加者を増やしました。寮さんは「困った行動をする子の原因は、その行動以外にある。その原因を理解しようとするのが大切。」と話されました。参加者からは「隣に寄り添いその子の持つ力を待つことが大事だと分かりました。」などの感想がありました。 アンケート満足度：91% 参加者：260人（令和3年度：141人、令和4年度：236人）</p> <p>②2月29日（木） 役場西館3階で「指導者研修会」を開催しました。 内容 「地域や家庭のあるあるから人権を考える～いきサポジェンダー劇場～」 講師 いきサポ座のみなさん（6人） 家庭教育講座（教育委員会）と共催して実施しました。 1.朗読劇「ご近所あるある編」 2.講談「血液型から考えるアンコンシャスバイアス」 3.寸劇「男社会のあるある編」 参加者の感想では、「自分自身に問いかける課題でした。」「今までの思い込みを見直していきたい。子どもたちにも男女の見直しを話したい。」「朗読劇あり、講談風あり、楽しく学べました。」などがありました。参加者：40人</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 人権教育推進事業：1,125千円</p>	<p>A</p>	<p>【今後の取組方針】 ヒューマンライツセミナー・指導者研修会などを実施し、人権学習の継続と発展を推進します。 ヒューマンライツセミナーin上牧は町PTA協議会と共催します。</p> <p>【令和6年度の計画】 ①ヒューマンライツセミナーin上牧 日時 11月21日（木）14時 場所 ペガサスホール 演題 「いのちの輝き～どこまでも自分らしく～」 講師 佐々木慈瞳さん（公認心理師）</p> <p>②指導者研修会 日時 2月13日（木） フィールドワークを予定</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
ヒューマンライツセミナー新規受講者数（累計）【人】	- 対前年増減→	-	89 +89	73 -16				50

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	文化振興課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。	
施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 学校と連携した読書活動の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 学校と図書館が連携し、子どもが自由に本を選び、読書を楽しめる機会を創出していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 図書館の団体貸出、図書館訪問の受け入れ、学童保育所でのブックトーク(1つのテーマにそって数冊の本を紹介)を実施しました。 図書館の団体貸出については、学校から要望があった本を小学校3校・中学校1校へと貸出しました。 また、令和4年度の学校への団体貸出実績を反映したおすすめ本のリストを作成し、各校へ配布しました。令和4年度に比べ、団体貸出冊数は61冊増加しています。 図書館訪問の受け入れについては、見学以外に絵本の読み聞かせやブックトークも実施しました。 これらの取組を通して、子どもと本・子どもと図書館をつなぐきっかけづくりができたと考えます。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 予算計上なし</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、学校と連携した読書活動の取組を推進していきます。 小中学校との連携を続けていくとともに、団体貸出のさらなる周知も行っていきたいと考えています。 また、教科書に沿ったおすすめ本リストを新たに作成していきたいと考えています。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
図書館の団体貸出を行う学校数(年間) 【校】	1	2	3	4				5
	対前年増減→	+1	+1	+1.0				

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	こども未来課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	③ 地域ぐるみの子育て支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 情報交換拠点の充実

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 つどいの広場は乳幼児及び保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育てについての相談・情報の提供・助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを推進することを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果 (R05)】 2000年会館にて「おひさま広場」「サロンほけっと」など、ラスパ西大和内ささゆりルームで「サロンほけっと」などを実施しました。「おひさま広場」は子育て中の孤立感の軽減や社会参加のきっかけ作りとなる場で、誕生日会などの企画開催などや親子遊びを行いました。「サロンほけっと」はゆっくりと寛げるサロンを用意しています。それぞれの特徴を活かし、同年代で遊ぶ経験や、その時期の子育ての悩みを共感し合えたり、また、自宅とは違う環境であらゆる年代がおもちゃを囲んで一緒に楽しく過ごせたりと、心にゆとりを持ってもらう場を提供できました。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・つどいの広場事業：4,540千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 共働き世帯が増え、保育所入所によりサロンなどの参加が減少しています。時代に合わせた切れ目ない支援を考慮し、閉ざされた空間で孤立して育児をすることのないよう、身近で気軽に参加できるつどいの広場の開催を引き続き継続していく必要があります。</p> <p>少子化や核家族化の進行、ネット情報の普及など、子育てをめぐる環境が大きく変化する中、乳幼児をもつ親と子どもが実際声を交わして気軽に集い、交流を図ることで、子育ての負担感や不安感を軽減し、子どもの健やかな育ちを推進していきます。</p>						
成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
情報交換拠点(つどいの広場・おひさま広場)の利用者満足度【%】	- 対前年増減→	92.7 +92.7	96.0 +3.3	93.1 -2.9				80.0

取組内容② 預かり保育事業の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 上牧幼稚園において、幼児の健全な発達を図るとともに、保護者の子育ての支援をすることを目的に預かり保育を実施しています。</p> <p>【実施内容・成果 (R05)】 令和5年度においては、新型コロナウイルスが第5類になったことから、利用率は増加傾向にあると思われませんが、令和5年度における入園児数が例年と比較して少なくなっているため、実績値は少なくなっています。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・一時預かり保育事業：983千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も担当保育士、園長と連携しながら、利用希望者全員を受け入れる体制を維持していきます。</p>						
成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
預かり保育の延べ利用者数(年間)【人】	797 対前年増減→	888 +91.0	1,107 +219.0	945 -162.0				1,100

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 就学前の学習環境の充実

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 生きる力の基礎となる豊かな感性・意欲・態度を養うとともに、幼児の長所や可能性を伸ばすことを目的に、就学前教育を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 令和5年度においては、下記の取組を通じて就学前教育の充実を図りました。</p> <p>●英語教育の充実 園児の段階から英語教育や情操教育を推進するため、外国人講師を招き、英語指導をしていただきました。多くの園児が歌やダンスなど、遊びを通じて英語を自然と身につけることができていました。</p> <p>●体育教育の充実 園児の基礎体力の向上を図るため、民間のスポーツ指導講師に授業を担当していただきました。運動が苦手な子どもでもわかりやすい指導で、苦手克服につながり、子どもたちの自信につながっているように思われます。 また、休み時間に体育教室で習った縄跳びや鉄棒などに自分から取り組む姿も見られ、以前より体を動かすことや運動に意欲的な園児が増えてきました。</p> <p>●特別支援教育の充実 支援を必要とする園児に対し、個々のニーズに合った指導をするため、特別支援スタッフを配置し、園児の個性や主体性、協調性、社会性の育成に努めました。園内で指導方針を共有することで、子どもたちが自分で行えることは見守り、困ったときにはすぐに手を差し伸べるなど、それぞれの子どもたちに寄り添った支援ができていますと考えます。</p> <p>●小学校との連携 令和5年度は、幼稚園教諭が小学校3校を訪問し、校内の様子や校長先生、1年生の担任教員からのメッセージなど、撮影したものを編集し、動画にして園児に見てもらったほか、入学説明会の際には、学校体験(半日入学体験)の機会を設けました。 また、お別れ遠足では学校巡りを行うなど、様々な取組の実施を通じて幼・小連携の充実を図ることができたのではないかと考えます。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・就学前教育事業(英語・体育)：642千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、就学前の学習環境の充実を図るため、令和6年度は幼小接続研修を実施するとともに、毎年度実施している保護者へのアンケート(幼稚園運営に関するアンケート)結果を踏まえ、ニーズなどに応えられるよう、新たな取組や改善について検討していきます。 また、未就学児と地域・小学校との連携事業を実施します。</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
幼稚園児と小学校児童との交流回数(年間)【回】	- 対前年増減→	- ±0	1 +1	1 ±0				3

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	こども未来課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。	
施策	④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 特色ある乳幼児教室の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 英語知育教育や和太鼓指導などの、第1保育所ならではの特色ある乳幼児教室を開催します。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 第1保育所において、3歳から5歳児を対象とした英語知育教育を実施しました。3歳、4歳児は隔月、5歳児は毎月1回外国人講師を招き、英語の歌を歌ったりダンスを踊ったりすることにより、英語を身近に感じながらリズム感を養うことができました。 また、5歳児を対象とした和太鼓指導では、昨今の入所児童数増加に対応するため、寄附金を活用して和太鼓を追加購入しました。 令和5年度は生活発表会やペガサスフェスタにおいて、人前で練習の成果を披露することができました。ペガサスフェスタではペガサスホールという大きな会場でたくさんの人の前で披露し、緊張しながらも頑張る姿を見ることができました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・町立第1保育所事業（和太鼓指導・英会話教育・和太鼓購入）：1,215千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 英語知育教育、和太鼓指導のほか、園庭での菜園活動やミュージックケアなどを実施していますが、子どもたちの感想や意見などに耳を傾け、よりよい事業となるよう更に充実を図ります。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
乳幼児教室開催数（年間）【回】	36 対前年増減→	36 ±0	36 ±0	36 ±0				36

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	⑤ 多様な学びの場における支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 通級指導教室（ペガサス教室）の充実

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 平成25年9月に開設した通級指導教室「ペガサス教室」において、個々の教育ニーズに合った指導を行っていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 令和5年度は、上牧町と河合町で運営を行い、コミュニケーションや学習につまずきを感じている児童生徒（小学生49名（上牧町38名・河合町11名）、中学生21名（上牧町のみ））に対し、指導員が寄り添いながら必要な支援の提供を行いました。</p> <p>また、就学前の幼児への支援から切れ目なく特別な教育課程による指導を中学校に至るまで展開しているほか、ニーズに応じて指導員が対象児童生徒の在籍校まで赴いて指導を行う訪問型の通級指導についても継続して行いました。</p> <p>「ペガサス教室」の運営に当たっては、指導方法の創意工夫や他の教職員に対する指導助言などが奏功し、コミュニケーションや学習に課題を抱える児童生徒の成長が見られました。</p> <p>また、教育相談に丁寧に対応することで、保護者の不安の解消・緩和にもつながったのではないかと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・通級指導教室（ペガサス教室）運営事業：814千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も継続していきますが、指導時間や回数などの要望がありますので、ニーズに合った指導ができるように検討していくとともに、通級指導担当以外の教職員の通級指導教室に対する理解を深めていくことや小中学校の連携などに取り組んでいきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
通級指導教員数【人】	4 対前年増減→	5 +1	6 +1	6 ±0				5

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	健康推進課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。	
施策	⑤ 多様な学びの場における支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① ほほ笑み教室の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 保育園や幼稚園で集団活動が苦手な幼児に対して、個々の成長に合わせ、心身の発達や社会性を促す療育プログラムを実施し、保護者の子育て支援を行います。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 ほほ笑み教室参加者の保護者を対象に、療育支援教室の評価とアンケートを実施しました。利用者満足度を7項目に調整し5段階評価にて行い、利用されている幼児と保護者の充実感がうかがえました。参加人数は8名でした。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・ほほ笑み教室事業：1,596千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も個々の成長に合わせ、心身の発達や社会性を促す療育プログラムを実施し、保護者の子育て支援も行います。支援が必要な幼児が少しでも早期に通級などの支援に至るよう、引き続き親子へのきめ細かな相談を行います。参加者が例年に比べて少なかったため、教室について周知方法を検討します。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
ほほ笑み教室利用者満足度【5段階評価】	4.7 対前年増減→	4.6 -0.1	4.8 +0.2	4.6 -0.2				4以上

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	社会教育課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。	
施策	⑥ 青少年の健全な育成	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 様々な専門講座の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 青少年の健全な育成を目的に、子ども体験学習事業として、青少年に様々な活動や体験学習を実施しました。</p> <p>【実施内容・成果 (R05)】 実施内容については、理科の実験・工作教室 (3回)、木工教室 (1回)、茶道教室 (1回)、プログラミング教室 (1回) を実施しました。ペガサスフェスタやさくら祭りで講座を実施することにより、多くの子どもたちや保護者に積極的に参加いただけることができました。また、新規の講座としてプログラミング教室を実施し、講師陣の確保に努めるとともに、多様な講座に参加する機会をつくることができましたと考えます。</p> <p>【事業費 (決算額：R05)】 ・学校・地域パートナーシップ事業：147千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 理科好きの子どもを育成を目的として引き続き理科の実験・工作教室を主として実施していきます。また、普段、学校の授業では体験できないような個々の能力を伸ばす専門的な体験講座の開催が求められているため、アンケート結果などを踏まえ、積極的な講師陣の確保に努めていきたいと考えます。</p>						
成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
専門講座開催回数【回】	6 対前年増減→	3 -3	6 +3	6 ±0				6

取組内容② 青少年の生涯学習機会の確保と次世代の育成

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 青少年の健全な育成を目的に実施します。元々は、地域の子ども会で高学年の児童にグループを指導する力を身につけてほしいというリーダー養成を目的に、約30年前に始まりました。</p> <p>【実施内容・成果 (R05)】 令和5年度は、野外活動2回(生駒山麓公園でカヤック体験など、亀の瀬地すべり資料館見学、明神山ハイキング)と宿泊研修、工作などの研修7回を実施しました。 また、令和4年度に引き続き救急講習を行い、事故などが起きた際に役立つ研修も実施しました。豊かな自然の中での活動や地すべり資料館見学の際にガイドの説明に熱心に耳を傾けるなど、様々な経験を通して充実した時間を過ごすことができました。</p> <p>【事業費 (決算額：R05)】 ・ジュニアリーダー研修事業：412千円</p>	B	<p>【課題】 小学校5年生を対象に新規募集を行いますが、小学校卒業と同時に辞めてしまう子どもが多数います。子ども会が縮小された現在、地域のリーダーの養成という観点からは、工夫をして参加者を確保していくことが必要であると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、野外活動や宿泊研修などを継続的に実施していく予定です。 また、参加者募集時の案内チラシの内容をブラッシュアップするなど、参加者の確保に努めます。</p>						
成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
ジュニアリーダー研修新規登録者数(年間)【人】	- 対前年増減→	16 +16	7 -9	11 +4				10

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
基本的方向	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	⑥ 青少年の健全な育成	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① キャリア教育及び職業教育の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 上牧町に対する愛着や誇りを育むとともに、働くことの意義や目的の理解、働く意欲や態度を学ぶことを目的に、毎年中学2年生を対象に職業体験を実施していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 令和5年度においては、下記のとおり職業体験などを行いました。 (上牧中学校) 奈良県の伝統工芸品である「奈良墨」の製造・販売を行っている「錦光園」(奈良市)の職人のかたを講師として招き、職業体験を実施しました。(生徒112人参加) 今回は、仕事内容や経験談などに関する講話と「にぎり墨」づくり体験が行われましたが、講話や体験などへの参加を通じて、就労に関する理解と意欲の向上につなげることができたと考えます。</p> <p>(上牧第二中学校) 町内事業者(MEGAドン・キホーテラスパ西大和店、ディオ上牧店、ファッションセンターしまむら上牧店、西大和片岡台郵便局、柿の葉寿司本舗たなか西和店、株式会社上杉食品、美容院サロンドポプリ、上牧幼稚園、片岡台幼稚園、やまびこ保育園、社会福祉法人郁慈会、上牧町立図書館)の協力を得て、職場体験を実施しました。(生徒42人参加) 受入先では、保育補助や会議補助、清掃活動、商品管理、接客などの体験を通じて、喜びや達成感を感じるとともに、働くことの大切さ、責任感を学ぶことができるなど、参加した生徒の職業観の形成に役立ったと考えます。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・職業体験事業：11千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、職業体験や職場体験を実施しますが、特に職場体験は、受入事業者の負担が大きくなっていると思われるので、受入先の負担を最小限にとどめられるよう努めます。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
県内企業や地域との交流活動回数(年間)【回】	2 対前年増減→	2 ±0	2 ±0	2 ±0				3

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	⑦ グローバル人材の育成	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 国際交流事業（世界に伍して活躍するグローバル人材の上牧町育成事業）の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 学校教育事業の一環として、中学生の外国語に対する興味・関心をさらに深め、他国の中学生との交流を通じて異文化に触れることにより、相互理解の推進、国際感覚豊かな人材の育成を目的として、国際交流事業を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが2類相当から5類に移行したことに伴い、令和5年12月に台湾・桃園市立桃園國民中學の生徒28名が上牧町を来訪する受入（ホームステイ）事業を実施し、上牧町立中学校の生徒と交流を行いました。 事業の実施・台湾の生徒との交流を通じて、生徒の外国語や異文化に対する関心・理解度を高めるとともに、学校間の友好関係の強化を図ることができたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・国際交流事業：579千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 令和6年度は、上牧町から中学生を台湾に派遣し、現地で交流を実施します。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
国際交流事業実施回数（累計）【回】	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	1 ±1				5

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	こども未来課
	近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。	
施策	① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 出会い・結婚応援事業の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 上牧町で結婚を希望される独身のかたを対象に出会いの場や情報を提供します。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 ①婚活イベントの開催(2回開催、参加者：男22名・女19名) 結婚を希望する男女に出会いの場として参加体験型の婚活イベントを開催しました。イベント参加者にはフォローアップを行い、カップル成立の有無は関係なく希望者に対し、サポーターが相談に乗り、希望者には結婚希望登録制度への登録を勧め、継続した支援を行いました。 ②個別相談会の開催(12回、定員各4組) 結婚を希望する男女及びその親族に対して個別の相談会を毎月1回開催しました。 これらのサポーターの活動により、令和5年度は2組が成婚となりました。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・出会い・結婚・子育て応援事業：735千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、非営利活動法人かんまきマリッジサポート赤い糸として活動するマリッジサポーターとともに、結婚を希望する男女に対してそれぞれにあった結婚につなげる支援を進めていきます。</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
出会い結婚応援事業による成婚者数(累計)【組】	4 対前年増減→	5 +1.0	7 +2.0	9 +2.0				15

取組内容② プレバパママ教室の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 妊娠届出時にプレバパママ教室への参加の勧奨を行います。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 ・プレバパママ教室(月1回開催、年12回) 〈参加者〉 令和5年度実績は、実人数37名(妊婦20名、夫16名、実母1名) 延べ人数65名(妊婦39名、夫25名、実母1名) 経年実績：50名(H30)、47名(R元)、77名(R2)、72名(R3)、64名(R4)、65名(R5)</p> <p>教室参加割合においては、出産病院で産前教室が再開されたことや経産婦のかたがいたため、29.4%でした。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・プレバパママ教室事業：52千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も継続してアンケートを実施し、プレバパママ教室の満足度やニーズを把握し、視覚教材などの媒体を使用することで、より満足度の高い教室を目指してまいります。 妊娠届出時の面談にて教室の勧奨を行うとともに、ホームページ及び子育てモバイルでの周知を図ります。広報では参加者の感想を掲載します。 プレバパママ教室を月1回開催します。 A日程：妊婦体験や沐浴体験、家事育児の見える化ワークなど B日程：分娩の話、栄養士のお話など C日程：産後の話、育児体験、母乳育児など</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
プレバパママ教室参加割合【%】	31.5 対前年増減→	21.1 -10.4	28.0 +6.9	29.4 +1.4				30.0

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	健康推進課
	近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。	
施策	① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 不妊治療または不育治療を受けている夫婦に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図り、少子化対策の推進に寄与することを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 妊娠届出時に認知度アンケートを実施し、よく知っていると回答した人は68名中34名で50.0%でした。令和3年度、令和4年度は減少していますが令和5年度は増加しました。 令和4年度から、一般不妊治療が保険適用となり、不妊治療費助成申請件数は19件、不育治療費助成申請件数は0件であり、不妊治療費助成申請件数は令和4年度より増加しています。一般不妊治療費助成金交付申請の金額は70,000円の満額申請しているかたが19人中11人いました。 9月と3月に広報へ記事を掲載し周知を図りました。また、個別に周知できるように近隣の産婦人科へチラシを配布しました。令和5年度からは、就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシを同封して周知を図りました。 平成28年度に助成を開始してから、不妊治療費助成申請者から32人、不育症治療費助成申請者から5人の出生がありました。また、令和5年度に不妊・不育治療助成申請者19人のうち9人が妊娠されました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・不妊・不育治療助成事業：1,141千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 申請状況は前年とほぼ同様のため、令和6年度も同様の補助金額で実施します。今後も申請状況の変化に応じて、事業内容について検討していきます。また、令和5年度から5年の助成期間の撤廃及び一般不妊治療に加え、特定不妊治療費の助成も上牧町で実施するため、申請者数が増加することが考えられます。周知する際に、変更点についてSNSや母子手帳アプリ、広報などでも広く周知します。 今後も広報、ホームページ、健診の場などで啓発するほか、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ配布を継続します。また、就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシの同封を継続します。 令和6年度も妊娠届出時のアンケートを継続して実施します。妊娠届出時のアンケートでは新規のかたがほとんどのため、継続して評価ができるように3歳児健康診査時にもアンケートを拡大して実施します。</p>

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
不妊・不育症治療助成事業認知度（よく知っている、名前だけ知っている人の割合）【%】	53.6 対前年増減→	50.4 -3.2	43.5 -6.9	50.0 +6.5				100

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	健康推進課
	近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。	
施策	② 子育ての希望を叶えるための支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 乳幼児健診受診の促進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 乳幼児期における身体発育及び精神発達の健全な育成のため、健康診査を実施し、異常の早期発見・予防をします。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 乳幼児健康診査については、医師会や歯科医師会などへ事前に相談し、新型コロナウイルス感染拡大予防対策の計画を立てたうえで実施しました。新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、少人数での案内時間の設定により検診当日の滞在時間の短縮を図りました。健診の実施回数についても感染状況を考慮しながら予定通りの回数(3・10か月児健診：12回、1歳8か月児健診：6回、2歳児歯科検診：4回、3歳児健診：6回)を、安全に滞りなく実施できました。諸事情により未受診となったかたについては、訪問などにより現認しています。 2歳児歯科検診においては、歯科医師会や歯科衛生士と協議し、感染状況を踏まえたうえでフッ素塗布を実施することができました。歯垢染色は飛沫による感染リスクが高いと考え中止しました。ブラッシング指導は感染拡大予防対策を徹底しながら実施しました。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・乳児健診事業：479千円 ・幼児健診事業：830千円 ・母子歯科保健事業：113千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 医師会や歯科医師会と連携を図りながら円滑に乳幼児健康診査を実施していきます。 2歳児歯科検診については、ブラッシング指導を実施します。 歯垢染色の実施については、再開に向けて歯科医師会と協議をしていきます。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
乳児健診受診率【%】	95.5 対前年増減→	92.9 -2.6	98.0 +5.1	100.0 +2.0				100
幼児健診受診率【%】	89.7 対前年増減→	87.9 -1.8	93.8 +5.9	95.3 +1.5				100

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	こども未来課
	近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。	
施策	② 子育ての希望を叶えるための支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 子育て世代への訪問型個別支援の拡充

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 おおむね生後3か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供などを行い、養育環境などの把握や助言を行います。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 令和5年度は、109件(延べ118件)赤ちゃん訪問を実施しました。実施率100%でした。 また、訪問後も支援が必要な家庭は、地区担当保健師へ支援をつなぐとともに、母子保健事業会議で情報共有を図りました。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・赤ちゃん訪問事業：435千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 出産後は全戸赤ちゃん訪問を実施し、新生児の発育などの確認や育児など全般に指導・助言をし、子育てに関する情報提供を引き続き行います。 また、アンケートにて事業満足度を評価します。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
赤ちゃん訪問実施率【%】	98.0 対前年増減→	94.3 -3.7	95.3 +1.0	100.0 +4.7				100

取組内容② 子育て支援の充実

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 子育て中の保護者と子どもを対象とした子育てを応援するため、子育て支援セミナーを行いました。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 感覚運動遊びを通して体幹やバランス遊びを行いながら、親子でふれあい遊びを実施し、からだの土台づくりを図りました。ペガサスフェスタにおいて先着親子10組を対象に開催しました。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 予算計上なし</p>	A	<p>【今後の取組方針】 子育て中の保護者の子育てを応援するために、子育て支援セミナーを今後も開催していきます。健康や育児などに親子で楽しめる内容を検討し、親子で充実した時間を過ごせるようなセミナーを開催します。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
子育て支援セミナー参加延べ人数(年間)【人】	- 対前年増減→	- ±0	18 +18.0	18 ±0				40

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 2

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
	2-1 既存ストックの利活用促進	まちづくり推進課
基本的方向	町内の既存住宅を地域の実情に即した活用により魅力ある環境づくりや住宅（多様な住まい、住まい方）供給を推進するとともに、生活利便性の向上に取り組み、若者に選ばれ、いつまでも住み続けられる住環境を整備します。	
施策	① 空き家活用プロジェクト	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容①

空き家利活用の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源としての利活用に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 空き家・空き地バンクへの物件の登録について、空き家所有者などからの新規相談が7件あり、所有者立会いの下での現地調査は4件行いました。その内2件が、上牧町空き家バンクへの登録に至りました。 空き家・空き地バンクの物件の利用登録について、新規相談が11件、利用登録が2件ありましたが、新たに利活用先として見つかった物件はありませんでした。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・空き家等対策事業：284千円</p>	B	<p>【課題】 利用者ニーズと登録物件内容を確認し、マッチングしやすい状況を作る必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き空き家コンシェルジュの協力のもと、利用者ニーズに合いやすいよう登録物件所有者に適宜金額などの条件内容の変更を促していきます。 また、登録件数がまだまだ少ないことから、空き家所有者に対して上牧町空き家バンクへの登録を促すアンケートを随時実施していきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
空き家・空き地バンク登録件数（累計）【件】	4 対前年増減→	4 ±0	4 ±0	6 +2				15

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-1 既存ストックの利活用促進	企画財政課
	町内の既存住宅を地域の实情に即した活用により魅力ある環境づくりや住宅（多様な住まい、住まい方）供給を推進するとともに、生活利便性の向上に取り組み、若者に選ばれ、いつまでも住み続けられる住環境を整備します。	
施策	② UR住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① UR都市機構等関係者との協議

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 西大和片岡台団地において、高齢者の見守り・生活相談・交流促進を行うとともに、日頃から高齢者と地域関係者をつなぐ役割を担う生活支援アドバイザーが令和3年度から配置されたことに伴い、活動状況の報告をいただきました。また、都市計画についての内容など、近隣のURの動向など、情報交換を行いました。</p> <p>《生活支援アドバイザーの活動》 防犯セミナー・健康体操、笑い与健康体操、折紙講座、モルックサークル活動、健康講座</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし</p>	B	<p>【課題】 生活支援アドバイザーの設置など、高齢者向けの施策については、一定程度進んでいますが、若者世帯向けの施策についての取組が必要です。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、UR都市機構と連携し、若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度や若者に好まれる環境整備など、UR西大和片岡台の整備方針を踏まえて、UR都市機構と相談しながら啓発活動やリノベーションに関する要望などを行います。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
UR都市機構等関係者とのまちづくりに関する意見交換回数（年間）【回】	3 対前年増減→	5 +2.0	3 -2.0	2 -1.0				4

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 2

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-2 若年層のUIJターン促進と関心・認知度の向上	まちづくり推進課
	少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。	
施策	① 公共交通の利便性向上	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 上牧町地域公共交通会議の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 持続可能な地域公共交通の形成に資する、地域公共交通の活性化に取り組めます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 庁内の公共交通関係部局（総務課、福祉課、生き活き対策課）とともに課題の洗い出しを行い、検討を行う内部検討会を実施しました。大小様々な課題がある中で、公共交通機関などと共有すべき課題をより明確にする必要があります。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし</p>	B	<p>【課題】 鉄道駅のない上牧町にとって、公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズを把握すること及びそのニーズや課題解決に取り組む協議会を組織する必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 県内外の他市町村の取組事例を調査・研究し、協議会の運用方針を固めると同時に、第二回庁内検討会を開催し、一定の課題提起を行います。 また、その課題解決や公共交通機関などとの協議を目的とした上牧町地域公共交通協議会の構成する委員になっていただけるかたにアプローチをかけ、令和7年度以降に協議会の発足及び会議の開催を目指します。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
上牧町地域公共交通会議開催数（年間）【回】	-	-	-	-				2
	対前年増減→	±0	±0	±0				

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-2 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上	総務課
	少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。	
施策	① 公共交通の利便性向上	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① コミュニティバスの利用促進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
【取組の概要（背景・目的等）】 コミュニティバスの存在の周知及び利便性の向上を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 住民からの「昼間の時間も運行してほしい」という声や服部台明星線の開通を受けて、ダイヤの改正及びバス停の増設を行いました。これにより、令和5年9月2日から昼間の時間(ほほ笑み号 12:22~13:30・ペガサス号 12:15~13:30・ささゆり号 12:13~13:23)もコミュニティバスの利用が可能になり、バス停を増設したことで、より幅広く利用してもらうことが可能となりました。 【事業費（決算額：R05）】 ・コミュニティバス運行事業：31,156千円	A	【今後の取組方針】 住民からの様々な要望や運行中に生じる課題について、今後も引き続き研究していきます。

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
コミュニティバス延べ利用者数（年間）【人】	42,699 対前年増減→	54,747 +12,048	66,141 +11,394	79,229 +13,088				60,000

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-2 若年層のUIJターン促進と関心・認知度の向上	まちづくり推進課
	少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。	
施策	② 関係人口・交流人口の創出	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 観光プログラムの企画・周知・運営

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 自然環境・文化資源の保全や魅力の発信、新たな観光プログラムの企画・周知・運営に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 観光プログラムの企画・周知・運営について、観光案内所3か所（橿原市2か所、桜井市1か所）、天理市の道の駅に本町のパンフレットを設置させてもらい周知に努めました。 また、馬見チューリップフェア、達磨会式、ウォーキングイベント、かぐや姫まつり、おもしろ歴史フェスティバル及び大立山まつりに参加しパンフレットなどを配り周知に努めました。 奈良県北西部の地域資源を活かした観光振興に資する特色ある総合的な取組を行う自治体との連携及び支援を行うことを目的とした「WEST NARA 広域観光推進協議会」に令和6年度から参加するため、会議への出席及び打合せを行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし</p>	B	<p>【課題】 観光プログラムの企画・周知・運営するため、関係各課と協議する必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 イベントなどに参加し上牧町の周知活動を引き続き行っていくとともに、「WEST NARA 広域観光推進協議会」に参加し、上牧町の自然・文化などの魅力を発信していきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
観光イベントの実施・参加回数（年間）【回】	-	3	4	6				2
	対前年増減→	+3	+1	+2				

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 2

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
	2-2 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上	企画財政課
基本的方向	少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。	
施策	② 関係人口・交流人口の創出	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町への関心を高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 地域イベントとして「ペガサスフェスタ」を開催し、5,000人を超えるかたが来場しました。また、3月22日から4月10日まで夜桜のライトアップを実施し、3月30日にはさくら祭りを開催しました。さくら祭りは事業の深化・高度化を図ることを目的に上牧町商工会、まちづくり推進課、企画財政課の3者で構成されるさくら祭り実行委員会主催で開催し、約3,500人の来場者を記録しました。</p> <p>さらに、北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」における新たな取組として、古墳や文化財を活用した「御墳印帖プロジェクト」を実施しました。本プロジェクトの取組として「ほっかつ御墳印帖マップ」を作製したほか、スタートアップイベントとして、河合町総合福祉会館で「北葛城古墳フェスタ」を実施し、奈良県内外から100名を超えるかたに参加いただきました。</p> <p>令和5年度の御墳印・御墳印帖販売実績として御墳印592枚、御墳印帖を64冊売り上げました。</p> <p>令和4年度に引き続き、「メタセコイアのライトアップ」、「片岡城復刻ARの活用」、「PRキャラクターの活用」を行いました。上牧町を「知ってもらえる・訪れてもらう」ための取組を推進したことで、上牧町への関心を高めるきっかけづくりができたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・ペガサスフェスタ開催事業：4,708千円 ・片岡城復刻AR事業：94千円 ・ライトアップ事業：1,394千円 ・PRキャラクター活用推進事業：1,378千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き「ペガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」の取組を推進していきます。</p> <p>また、町制施行50周年記念事業として実施した新たな取組についても、継続的に実施していくとともに、制作物の活用促進を図っていくことで、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
プロモーション活動・媒体の認知度【%】	50.6 対前年増減→	38.2 -12.4	40.4 +2.2	33.3 -7.1				60.0

取組内容② 大学や企業との連携によるブランディングの推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 コンパクトで生活利便性に優れ、自然に囲まれた上牧町の特徴をPRし、より一層ブランディングを推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 ふるさと納税の返礼品を掲載するサイトを追加し、合計2サイトで運営を行いました。返礼品については、協力事業者として14事業者の登録があり、返礼品として累計106品目（令和4年度比+46品目）の登録となりました。</p> <p>特産品開発支援補助金については、2件の申請があり、ふるさと納税の返礼品となる新製品の開発が行われました。</p> <p>事業者紹介サイトについては、前年度と変わらず合計29事業者の登録が継続されました。</p> <p>その他、企業版ふるさと納税に関しては奈良県と共同で運営する協議会で作成したパンフレットを用いて、上牧町の企業版ふるさと納税についてアピールを行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・ふるさと納税事業：4,944千円 ・特産品開発支援補助金事業：424千円 ・奈良県企業版ふるさと納税推進事業：11千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、ふるさと納税を通じて上牧町のPR・ブランディングを進めていきます。</p> <p>また、事業者紹介サイトの運営も引き続き行います。</p> <p>その他、企業版ふるさと納税を通じて企業との連携が図れるように制度を整備していきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
ホームページへのアクセス数（年間）【件】	287,870 対前年増減→	461,429 +173,559	274,794 -186,635	253,220 -21,574				500,000

取組内容③ 移住支援金事業

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 奈良県と連携し、県内企業などの人材不足の解消と町内への移住・定住を促進させるため、東京圏から移住し、県内での就業や起業をしようとするかたに対し支援金を給付しています。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 令和5年度は周知活動として、広報5月号への掲載などを行いましたが、申請はありませんでした。</p> <p>また、本補助金制度の拡充を目的として、子育て加算（18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合、18歳未満の世帯員1人につき100万円の加算）を行うための要綱改正を行いました（令和6年4月1日施行）。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・東京圏からの県内就労促進移住支援金事業：0円（予算：1,000千円）</p>	B	<p>【課題】 申請件数が少ない状況にあるため、周知方法についての検討などが必要と考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、奈良県と連携し事業を進めていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
移住支援金申請件数（年間）【件】	- 対前年増減→	- ±0	1 +1	- -1				1

取組内容④ SNSを活用した情報発信と企画の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 SNSを通して上牧町への関心を高める企画などの情報を発信することで、町の認知度向上及び魅力発信につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 町制施行50周年記念事業の一環として制作された町PRキャラクターがイベント等へ参加する機会が増え、SNSでの情報発信を推進することができました。</p> <p>また、コミュニケーションアプリ「LINE」で使用することのできる「スタンプ」を制作したほか、上牧町ホームページ内に「ゆりはちゃんの活動日記」というコーナーを開設し、ゆりはちゃんが出席したイベントなどの写真・文章を掲載しました。</p> <p>その他、他市町村のSNSに掲載いただく機会もあり、県内外問わず多くのかたに上牧町を知ってもらうよいきっかけとなりました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・PRキャラクター活用推進事業：1,378千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も、秘書人事課と連携しながら、町PRキャラクターを活用したSNSでの情報発信を進め、町や町PRキャラクターの認知度向上に努めていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
SNSの延べフォロワー数【人】	2,500 対前年増減→	4,271 +1,771	5,345 +1,074	5,864 +519				5,500

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
基本的方向	3-1 地域資源を活用した魅力創出	総務課
	住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。	
施策	① 公共施設の相互利用	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 公共施設広域連携検討会の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 他市町村と連携することにより、効率的な施設運営を実施するための協議を重ねていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 広域連携検討会に3度参加し、他市町村と今後の方針を検討しました。また、施設の相互利用に関する協定を令和4年度に締結した7市町に御所市を加えて8市町で締結し、協定を締結した市町間で実証実験を行いました。さらに、各施設において利用者のかたを対象にアンケート調査を行い、利用実態の把握に努めました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし</p>	B	<p>【課題】 検討会での各自治体共通の利用者側の課題として、各対象施設でそれぞれの予約手続方法があるため、統一性がなく分かりにくいことが挙げられています。管理者側の課題としては、インターネットを利用できない利用者もいることから、「電話受付」、「窓口受付」など各自治体でルールを統一し、運用する必要があります。 また、インターネット予約を普及させるために特典の導入なども検討していきたいとの意見もあげられています。</p> <p>【今後の取組方針】 共同利用に向けた運用ルールの課題整理・統一化を検討していきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
公共施設の満足度	14.7 対前年増減→	-	-	-				35.0

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 3

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
基本的方向	3-1 地域資源を活用した魅力創出	社会教育課
	住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。	
施策	② 地域資源の整備	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 平成27年10月7日に国指定された史跡上牧久渡古墳群の整備を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 史跡上牧久渡古墳群整備事業について、令和5年度は仮設道造設工事、樹木伐採工事を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・史跡上牧久渡古墳群整備事業：62,238千円</p>	B	<p>【課題】 実施設計をもとに、整備工事を着実に進めていく必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 文化庁や県担当課に指導を受けながら、庁内関係課と連携し整備事業を更に円滑に進めて行きます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
史跡上牧久渡古墳群の整備【%】	40.0 対前年増減→	40.0 ±0	50.0 +10	55.0 +5				100

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
基本的方向	3-1 地域資源を活用した魅力創出	まちづくり推進課
	住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。	
施策	② 地域資源の整備	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワーク整備に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いにある芝桜について、開花時期に合わせライトアップを行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・芝桜植栽維持管理事業：999千円</p>	B	<p>【課題】 上牧町の歴史・文化・自然の魅力を感じられる事業を展開する必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 笹ゆり回廊の整備完了に合わせて、既存の回廊のルートについて広く町内外に周知し、現地でもルートを確認できる案内板を設置します。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率【%】	47.0	89.0	89.0	89.0				100
	対前年増減→	+42.0	±0	±0				

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進	企画財政課
基本的方向	上牧町では2014年(平成26年)4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。	
施策	① 地域活動の支援・促進	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 優れた技術・能力を有する人材の発掘を目的として実施している人材登録制度「上牧町まちづくり人財バンク」の取組を通じて、町民のまちづくりの参画機会の創出につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 新規登録はありませんでしたが、元々登録していた人材の庁内開催の各種審議会での委員就任や、まきっ子塾学習アドバイザーとして活用されました。 また、町民の生涯学習活動などに利用できるような他都道府県・他市町村の制度の調査・研究についても進めることができました。</p> <p>(活用事例) ・まきっ子塾：5名 ・各種審議会委員：1名</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 予算計上なし</p>	B	<p>【課題】 令和5年度は新規登録者数が0人であったため、町民への認知度向上を図り、登録者数を増やす必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、町民の参画機会創出につなげるため募集を行います。募集案内については、広報だけではなくSNSなども積極的に使用し、登録者数・活用人数ともに増やせるように進めていきます。 また、現在は内部での利用のみにとどまっているため、将来的に町民のかたの生涯学習活動などに利用してもらえるように、制度を整備し、運用していきたいと考えています。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
上牧町まちづくり人財バンク登録者の活用人数(年間)【人】	7 対前年増減→	6 -1	4 -2	6 +2				20
上牧町まちづくり人財バンクの登録者数【人】	30 対前年増減→	30 ±0	37 +7	37 ±0				45

取組内容② 地域活動団体の設立及び活動支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 協働のまちづくりを推進するために、地域活動団体の公益的な取組に対して補助金を交付する「上牧町協働のまちづくり公募型補助金」(以下「公募型補助金」という。)の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行うことで、地域力の向上を図っていきます。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 地域活動団体(3団体)に対して公募型補助金の交付を行いました。また、公募型補助金を通じて新たに1つの地域活動団体が設立されました。</p> <p><新規地域活動団体> ・上牧町在住外国人交流事業(団体名：Together)【補助金交付額106,015円】</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 ・協働のまちづくり公募型補助金事業：432千円</p>	B	<p>【課題】 公募型補助金については、申請件数が少ないという現状を踏まえ、補助金をより活用してもらいやすくなるように補助金制度の見直しについても検討していく必要があると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き公募型補助金の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行っていきます。 また、公募型補助金については他市町村の事例について引き続き調査・研究を行いながら、制度の見直しについて検討を進めていきます。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
新規地域活動団体年間設立数(累計)【団体】	- 対前年増減→	1 +1	2 +1	3 +1				20

取組内容③

上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 町の活性化や地域団体の育成を図り、その継続的な活動を通して町民と行政との協働のまちづくりの推進を目的に、町民により組織される団体が行う公益的活動に対して、団体からの申請に応じて補助金の交付を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 令和5年度は4団体からの申請があり、上牧町協働のまちづくり公募型補助金審査判定委員会に諮った結果、地域活動団体（3団体）に対して公募型補助金の交付を行いました。 また、従来よりも早期の事業着手を可能にするため、事前申請制度を新たに設け、実際に2団体から本制度を利用しての申請がありました。</p> <p><実施事業（R05）> ●自由提案事業補助金 ①自主防災に関するワークショップ（団体名：かんまき自主防災ネットワーク【補助金交付額102,485円】 ②コギア大作戦（団体名：片岡城址盛り上げ隊）【補助金交付額83,821円】 ③上牧町在住外国人交流事業（団体名：Together）【補助金交付額106,015円】</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・協働のまちづくり公募型補助金事業：432千円</p>	B	<p>【課題】 申請件数が伸び悩んでいる要因として、多様化しているニーズに対応できていない部分があると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き上牧町ボランティア連絡協議会を支援している上牧町社会福祉協議会にヒアリングを行うなど、ニーズの把握に努めるとともに、他市町村の事例を参考にするなど、募集の枠組みの再構築を視野にいたした調査・研究を進めていきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請団体数（年間）【件】	3 対前年増減→	5 +2	2 -3	4 +2				7

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 3

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進	社会教育課
基本的方向	上牧町では2014年（平成26年）4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。	
施策	① 地域活動の支援・促進	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 歴史ガイドボランティアの養成

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 町民が歴史資産の価値や魅力を再認識し、郷土の誇りとして感じられるように、町民の共有財産として保全し、後世に受け継ぐとともに、魅力の発信に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 歴史ガイドボランティア養成講座は計2回実施し、町内や近隣市町村の歴史や文化財について学びました。8月には奈良県ウォーキング協会からの依頼で片岡城跡のガイドを行いました。 また、9月に上牧町歴史ガイドボランティアの会を発足し、計6回の研修会を実施しました。 さらにペガサスフェスタやさくら祭りでは、ペガサスホールのロビーにおいて、史跡上牧久渡古墳群をはじめとする町内の文化財の解説や、史跡上牧久渡古墳群から出土した画文帯環状乳神獣鏡のレプリカに触れるコーナー、片岡城跡のVR体験コーナーなどを設営し、啓発活動を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・生涯学習推進事業（備品購入費）：106千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 外部からのガイド依頼があれば積極的に取り組み、経験を積んでいきます。 また、町内のガイドツアーの企画など、会が自主的に運営できるよう活動を進めていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
歴史ガイドボランティアの養成人数 （目標年度終了時点）【人】	18 対前年増減→	17 -1	16 -1	14 -2				30

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 3

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進	総務課
基本的方向	上牧町では2014年(平成26年)4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。	
施策	② 防災・防犯活動の支援・促進	

2. DO (実施結果) / CHECK (評価) / ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 防災訓練の実施及び近隣自治体との広域連携

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 防災訓練の実施支援や近隣自治体との広域連携を行うことで、町の防災力向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 社会福祉協議会主催のふれあい社協まつり(5月21日)にて、上牧町の防災ブースを設けて、非常用プライベートテントとラップ式トイレの展示を行いました。 また、防災備蓄品の配布も行いました。 上牧第二中学校において、自治会を対象とした避難所開設訓練(7月2日)を実施しました。</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 予算計上なし</p>	B	<p>【課題】 近隣自治体との広域連携訓練について、協議が必要と考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も防災訓練の実施支援などを行い、地域の防災意識の向上を図っていきます。 広域連携について、引き続き北葛城郡各町と協議を進めていきます。</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
地域防災訓練の支援回数(年間)【回】	-	1	2	2				3
	対前年増減→	+1	+1	±0				
広域防災訓練開催に向けた検討会議の開催数(年間)【回】	-	-	-	-				1
	対前年増減→							

取組内容② 子ども防災意識の向上

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 災害時において命を守る行動を行えるよう、子どもたちの防災意識の向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果(R05)】 地震発生を想定して、県内一斉に1分間身を守る行動を行う『奈良県いっせい地震行動訓練(ナラ・シェイクアウト)』に本庁、町立保育所・幼稚園・小中学校が参加しました。(7月10日) また、子ども向けの消防防災に関するDVDの上映と子ども向けの啓発物品の配布を行いました。西和消防署と協力し、消防防災に関する啓発を行いました。(11月3日ベガサスフェスタ)</p> <p>【事業費(決算額：R05)】 予算計上なし</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、子どもたちの防災意識の向上を図るためイベントや教室の開催、水消火器を使った子ども向け防災訓練などを積極的に行っていきます。</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
子ども防災意識の向上教室の開催数(年間)【回】	-	-	1	1				1
	対前年増減→	±0	+1	±0				

取組内容③ 防犯活動の支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 防犯カメラの設置やパトロールなどを行うことで、町内の犯罪を未然に防ぐ役割を担います。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 町民・行政・西和警察署が一体となり犯罪から守るべく、防犯パトロールの強化を実施しました。 防犯カメラについては、上牧第二中学校裏側階段に新たに1台設置を行い、合計37台の設置を完了しました。 また、別の箇所でも危険であると判断されたため、令和6年度に防犯カメラの設置を計画しています。 交通安全協会上牧町分会、PTAや各地区の見守り隊による立哨を実施しました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・防犯カメラ設置事業：671千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も青パトによる防犯パトロールや立哨活動による防犯体制の強化を図り、危険箇所について防犯カメラの設置検討を行っていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
防犯カメラ設置台数【台】	24 対前年増減→	30 +6	36 +6	37 +1				36

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.4

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる	担当課
	4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	企画財政課
基本的方向	共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。	
施策	① ハローワークや町内事業者と連携した就職支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 就職準備セミナーの開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 ハローワークと連携し、町民の様々なライフスタイルに対応できる就職情報を発信していくほか、出産後に再就職を希望する女性などを対象にした就職準備セミナーの開催を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 ハローワーク大和高田と財務省奈良財務事務所と共同で、育児期間中でおかつ求職中の人を対象に、「仕事と育児の両立支援セミナー（旧名：マザーズセミナー）」を開催し、8名（前年比+6名）の参加がありました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし</p>	B	<p>【課題】 セミナーの参加者を集めるのが年々難しくなっているため、より多くのかたに参加してもらえるように魅力あるセミナーを開催していく必要があると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、ハローワークと連携を図りながら事業を進めていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
就職支援セミナー等への参加者数（年間）【人】	15 対前年増減→	8 -7	2 -6	8 +6				30

取組内容② 町内事業者とのマッチング支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 ハローワークと連携し、町内事業者とのマッチング支援を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 令和5年度は、仕事と育児の両立支援セミナー内で金融教育に関する内容を行ったため実施しませんでした。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし</p>	C	<p>【課題】 事業を行うにあたって、ニーズが把握できていない状況のため、ニーズの調査をする必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 ハローワークと連携を図りながら、取組の方向性についての検討を進めていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
マッチングイベント等参加事業者数（年間）【事業者】	1 対前年増減→	- -1	1 +1	- -1				3

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 4

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる	担当課
	4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	こども未来課
基本的方向	共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。	
施策	② 子育てしながら安心して働ける環境の整備	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 子育てと就労の両立支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 安心して共働きできる環境の整備を目的に、子育てと就労の両立支援として、病児・病後児保育と放課後児童健全育成事業を実施しています。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 「ぞうさんのおうち」と「いちごルーム」、令和5年度より新たに「ぼっぼ」と合計3カ所で開催しました。「いちごルーム」の案内チラシやポスターを作成し、保育所・学童保育所などに掲示し周知を図りました。 また、年度ごとの更新が不要となり、利便性の改善につながりました。社会的ニーズの拡大により、近隣で新たな病児保育施設と契約したため利用者の選択肢が広がりました。 放課後児童健全育成事業として、就労形態の多様化に伴う保育需要に対応するため、町内の学童保育所において保護者が共働きの家庭などにより放課後や夏休みなどの長期休業日に家庭で保育が受けられない児童を対象として、適切な遊びや生活の場を提供しました。 また、令和5年度夏休みより、学童保育開始時間を従来の8時から7時30分とし開設時間の延長を実施して子育て支援の充実を図りました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 ・病児・病後児保育事業：1,806千円 ・学童保育運営事業：29,045千円</p>	A	<p>【今後の取組方針】 登録者数においては認知度が少しずつ向上しつつあります。地域の特性上などの理由で登録者数は伸び悩んでいますが、共働き世帯の増加などにより利用ニーズは増加すると予想されるため引き続き登録人数を増やし、仕事と子育ての両立の手助けができるよう周知します。 上牧第三小学校学童保育所においては教育委員会部局の協力を得て学校の特別教室の一部を利用し、利用定員を増やして受け入れをしている状況です。 今後も受け入れについては柔軟に検討し、仕事と子育ての両立を支援します。</p>

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
病児・病後児保育施設登録者数【人】	77 対前年増減→	84 +7.0	93 +9.0	112 +19.0				120

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.4

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる	担当課
	4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	企画財政課
基本的方向	共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。	
施策	② 子育てしながら安心して働ける環境の整備	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 子育てママ就業支援事業の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 子育てをしながら柔軟に働くことができる環境を確保することが求められています。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 令和5年度においても、「上牧町子育てママ就業支援事業」として、育児の都合に合わせた柔軟な働き方を実現できるようにするため、ラスパ西大和1F（上牧町ささゆりルーム）において、託児スペースとワーキングスペースを併設した就業支援スペース（事業拠点）を設置し、民間事業者との連携により運営を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし</p>	B	<p>【課題】 ラスパ西大和にて、就業支援スペースを活用し民間事業者が託児を行いながらコールセンター業務などを行っていましたが、時代の流れに合わせ、業務形態を在宅へ切り替えることを進めるとのことで、令和6年3月末をもって閉店することとなり、子育てママ就業支援事業が終了となりました。</p> <p>【今後の取組方針】 これまでの子育てママ就業支援事業とは、別の形で、子育てをしながら働くことができるような支援策を検討します。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
子育てママ就業支援施設での延べ雇用者数（年間）【人】	26 対前年増減→	45 +19	46 +1	53 +7				50
子育てママ就業支援施設稼働率（年間）【%】	54 対前年増減→	83.6 +29.7	78.9 -4.7	80.0 +1.1				70

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 4

令和5年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる	担当課
	4-2 新たな雇用創出の支援・促進	まちづくり推進課
基本的方向	地域資源を生かした商品開発を支援し、新たな魅力づくりを促進することで、地域産業の活性化を図るとともに、関係機関と連携しながら、販路の確保や事業者育成に取り組み、新たな仕事や雇用の創出を促進します。また、農業においても、生産性の向上や経営の安定化を支援し、農産物の高付加価値化を進めるとともに、多様な担い手の育成・確保を図ります。	
施策	① 地域産業の活性化と担い手の育成	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 就農支援（担い手育成）と農産物の販路確保支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 新たに本町で就農されるかたへの支援策を模索するとともに、朝市などの新鮮農産物の産地直売体制を支援し、販路の確保や上牧町の農産物の認知度向上につなげます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 就農支援については、農業委員会を通して各大字ごとの若い世代の農業者に声かけを行い、1名の新規就農者を発掘しましたので、そのかたとともに県へヒアリングに行き、今後について協議を行いました。 産地直売体制への支援の面では、上牧ふれあい朝市会に対し、場所の提供、ポスター作成などの支援を行い2人の新規協力者を確保しました。それにより、朝市の会員数は合計21人となりました。 また、上牧ふれあい朝市会の会員が作っている玉ねぎを、商工会が販売している「片岡の里 春ちゃんの黒カレー」に使用させてもらい地産地消につなげました。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、新たに就農されるかたへの支援策を模索するとともに、上牧ふれあい朝市会の販路確保や農産物の認知度向上に向けた取組を実施していきます。 また、新規就農者育成における空き家バンク制度との連携について、実施している市町村に聞き取りなどを行い、実施に向けて検討していきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
新規就農者数（年間）【人】	- 対前年増減→	- ±0	1 +1	1 ±0				1

取組内容② 地域資源を活用した商品開発と販路確保支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 町内外に上牧町の魅力をPRすべく、地域資源を活用した新たな特産品の開発を進めるとともに、地域農産物の町内消費促進を支援するため、商業施設や地域イベントでの販売など、場と機会の確保に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R05）】 農産物をはじめとする地域特産品をもっと広く周知してもらえるよう、上牧ふれあい朝市会に対しベガサスフェスタへの販売場所提供や周知活動など、多面的に産地直売体制を支援していき、地産地消につなげました。 新たな地域特産品開発に関し、地元農業者、事業者及び商工会と協議を重ねましたが、開発には至りませんでした。</p> <p>【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし</p>	B	<p>【課題】 農産物をはじめとする地域特産品をもっと広く周知してもらえるよう、地元農業者、事業者及び商工会と連携し事業を推進していく必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き上牧ふれあい朝市会に対し、ベガサスフェスタへの販売場所提供や周知活動など、多面的に産地直売体制を支援していき、地産地消につなげます。 また、地元農業者、事業者及び商工会と協議を重ね、黒カレーに次ぐ第2、第3の新たな地域特産品を開発または開発支援をしていきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
新たな地域特産物（累計）【品目】	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	- ±0				2